月と太陽

十クロナガ十

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月と太陽

【Nコード】

N1225N

【作者名】

十クロナガト

【あらすじ】

それは、不幸な王子様の話。

それは、不幸な王子様の話。

ある日、とても勇敢でたくましい王子様が現れた。

その王子様はどこまでも素直で、どこまでも優しい。

国民全員から愛された。国からも信頼された。

そして、その王子様は、絶対に王女様以外を愛人には迎えようとしなかった。

一国の王、愛妻家にして国中からも愛される。

まさに、素晴らしい、素敵な王子様だった。

そして、王女様もまた、王子様に似て素敵な性格だった。

どこことなく王子様と雰囲気似ていて、やさしく、物静かな王女様。

そんな王女様は、国中の注目を集めた。

そして、そんな仲の良い王子様と王女様は、いつしか月と太陽：

月姫様と天皇様と呼ばれるようになりました。

2

そんな時、ある一つの吉報が王子様の耳に入りました。

…そう、王女様に赤ちゃんができたのです。

王は国を挙げて喜び、その出産を待ちました。

そして赤ちゃんが生まれたとき…

助産婦は声を上げて驚きました。

家政婦はすぐに大量の水を用意しました。

王には死産だと伝えられました。

王は嘆きました。しかし、国中は王を慰めました。

そして王の気持ち落ち着いてきた頃。

今度は二人目の赤ちゃんができました。

泣いて喜びました。

次こそは成功させよう、と。

しかし、その次も助産婦からの返事は死産。

王はせめてもの、その赤子の亡骸を一目でいいから見たい、と言いました。

しかし家政婦メイドは引き止めました。

けれど王も言うことは聞きませんでした。

その先にあるのは、

…大量の水に浸った赤子。

明らかに、意図的に、それは“沈められていた”のです。

その仲には、形容しがたい赤子の姿。

そう、その赤子は“奇形児”でした。

王室の誰かはこう言いました。

近親相姦だ。王女は実の妹である。

さもなくばこの王家には呪いがかかっている。

追い出せ。魔女の呪いだ。魔女が王を誑たぶらかかしている。

王女は離れ孤島で、こんな言葉を残しました。

月が太陽を追いかけると、いつしかこの空は消えてなくなるでしょう。

例え私が妹であろうと、あなたを愛する気持ちはいつの世も同じです。

王子は一つ城で、こんな言葉を残しました。

どこまでも広がるこの空に、つながらない世界などない。たとえ私が兄であろうと、私は王女しか愛さない。

天高くそびえる王宮からは、王はその身を投げ出した。

永遠の野の荒野の中で、王女は亡きまで祈り続けた。

いつからだろうか。

王が、その身を投げてから、

宮殿の鐘に、月と太陽が描えがかれたのは。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1225n/>

月と太陽

2010年10月10日06時18分発行